

緑の相談

Q & A

Q

家庭菜園でニンジンを栽培していますが、うまく発芽しません。発芽率を高めるにはどうしたらよいでしょうか?

A



通常、種まき後には種子の直径の3倍程度の厚さの土をかけますが、ニンジンやゴボウ、レタス、シュンギクなどの種子は、光が当たることで発芽しやすくなる好光性種子なので、種子が見え隠れする程度にごく薄く土をかけることが大切です。

日光



覆土後に土を押さえる

ニンジンはセリ科の野菜でカロテンを豊富に含む緑黄色野菜の王様です。葉にもビタミン類やカルシウムが多く、家庭菜園でぜひ栽培したい野菜の一つです。

ニンジンの栽培は発芽するまでがとても重要で、「発芽したら半分は成功」とまで言われるほどです。発芽さえしてしまえば、さほど手のかからない野菜です。

発芽を高めるポイントは、次のとおりです。

水分

ニンジンの種子は吸水力が弱く、種まき後に土が乾くと極端に発芽が悪くなるので、土が常に湿っている状態を保ちます。そのため種まきの前に土を十分に湿らせ、土をかけた後は手や鍬の背などで土を軽く押さえ、不織布やワラなどで土の表面を覆い、土が乾燥しないように努めます。土が乾くようであれば水をかけてあげるのはもちろんです。



薄く覆土

温度

ニンジンの発芽に適する地温は15度～25度です。季節に合わせてビニールや不織布、寒冷紗などの被覆資材を使い分け、発芽に適した地温にしてあげましょう。

なお、ニンジンは初期生育が遅く、春まきも夏まきも、生育期は雑草が茂りやすいので、せっかく発芽しても草の勢いに負けてしまうことがあります。除草も忘れずに行いましょう。



コレやってみよう！

バラとアイビーのリースを作ろう

準備

- リース（直径20cm）
 - グルーガン
 - ペンチ
 - ハサミ
 - バラ4本
 - アイビー2本
 - ユーカリ1本
 - プチフラワー1本
- ※すべて造花です。



作り方

- 1 リースにカットしたバラの花を上下にバランスを考えて置く。
位置が決まつたらグルーガンで固定する。



- 2 アイビーをリースにからませる。
必要部分をカットして使う。



- 3 バラやユーカリの葉をリースのすき間にグルーガンで固定する。
プチフラワーも必要部分をカットして使う。



完成

玄関や部屋などに飾って楽しんでください。

